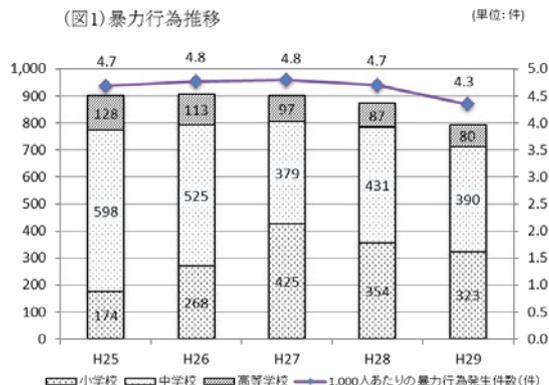


【別紙】

平成 29 年度 公立小中学校及び県立高等学校における暴力行為の状況

1 概要 (図 1 参照)

- 平成 29 年度の公立小中学校及び県立高等学校における暴力行為発生件数は 793 件で、平成 28 年度と比較して 79 件減少 (前年度比 9.1%減)。
- 公立小中学校及び県立高等学校における 1,000 人あたりの暴力行為発生件数は 4.3 件で、平成 28 年度 (4.7 件) より 0.4 件減少。



2 形態別状況 (表 1 参照)

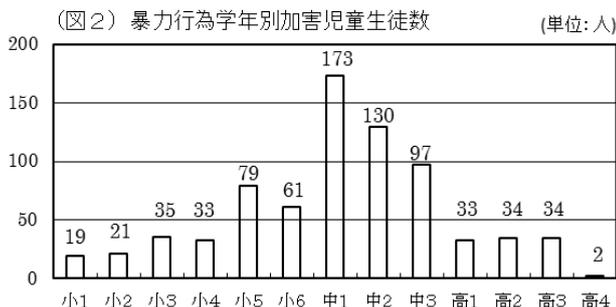
- 形態別では、生徒間暴力が 535 件 (構成比 67.5%) で最多。
- 次いで対教師暴力 157 件 (同 19.8%)、器物損壊 93 件 (同 11.7%)、対人暴力 8 件 (同 1.0%) の順。

(表 1) 暴力行為推移 (形態別) (単位: 件)

	H25	H26	H27	H28	H29	構成比
対教師暴力	195	194	171	132	157	19.8%
生徒間暴力	565	591	597	610	535	67.5%
対人暴力	11	18	9	12	8	1.0%
器物損壊	129	103	124	118	93	11.7%
計	900	906	901	872	793	100.0%

3 学年別状況 (図 2 参照)

- 学年別加害児童生徒の総数は 751 人で、中学生 400 人 (構成比 53.3%) を占めている。
- 学年別では、中学 1 年生が 173 人 (同 23.0%)、中学 2 年生 130 人 (同 17.3%)、中学 3 年生 97 人 (同 12.9%)、小学 5 年生 79 人 (同 10.5%) の順。



4 校種別状況 (表 2 参照)

- 中学校が 390 件 (構成比 49.2%) で最多。続いて小学校 323 件 (同 40.7%)、高等学校 80 件 (同 10.1%) の順。
- 平成 28 年度と比較すると、小学校で 31 件の減少、中学校で 41 件の減少、高等学校で 7 件の減少。

	H25	H26	H27	H28	H29	構成比
小学校	174	268	425	354	323	40.7%
中学校	598	525	379	431	390	49.2%
高等学校	128	113	97	87	80	10.1%
計	900	906	901	872	793	100.0%
増減 (▲) 率 (%)		0.7	▲ 0.6	▲ 3.2	▲ 9.1	

5 加害児童生徒実人数 (表 3 参照)

- 中学校が 383 人 (構成比 54.9%) で最多。続いて小学校 215 人 (同 30.8%)、高等学校 100 人 (同 14.3%) の順。
- 平成 28 年度と比較すると、小学校で 96 人の減少、中学校で 4 人の減少、高等学校は増減なし。

(表 3) 加害児童生徒実人数推移 (校種別) (単位: 人)

	H25	H26	H27	H28	H29	構成比
小学校	148	191	308	311	215	30.8%
中学校	507	454	369	387	383	54.9%
高等学校	149	132	113	100	100	14.3%
計	804	777	790	798	698	100.0%
増減 (▲) 率 (%)		▲ 3.4	1.7	1.0	▲ 12.5	